

火力発電所へバイオマス燃料「高性能 EFB ペレット」を供給

～エネルギー資源開発と伸光ホールディングスが提携～

エネルギー資源開発株式会社(東京都千代田区、代表取締役：家長 将典、会長：前静岡県知事 石川 嘉延)と伸光ホールディングス株式会社(愛知県一宮市、代表取締役：長澤 健太郎)は、高性能 EFB ペレット製造に関する業務提携を締結しました。

今後この事業のパートナーを募りながら、北九州ひびき灘バイオマス燃料集配基地及び商社を通じて、日本の発電所に対して燃料を供給する体制を進めていきます。

伸光ホールディングスグループと東京工業大学の吉川 邦夫教授は、ボイラーに有害な物質を高温高圧環境下で除去する技術(30ヶ国特許出願中)を確立しました。この技術は、国際連合工業開発機関(UNIDO)や日本貿易振興機構(JETRO)を通じて、東南アジア諸国での生ゴミ問題解決の事業として展開しています。インドネシア等で多量に廃棄される EFB(パーム椰子空果房)は、カリウムや塩化物等のボイラーへ悪影響を及ぼす成分を多量に含んでおり、発電所の燃料としては不適合とされています。そこで、PC 炉の石炭混焼や CFB のバイオマス専焼炉に連続投入できるように先の技術を応用して素材を処理することで、「高性能 EFB ペレット」の製造が可能になりました。これはウッドペレットと同等の性能を持つ低位発熱量約 4 千 4 百 kcal/kg の高性能なペレット燃料であり、かつ PKS(パームヤシ殻)に対抗できる価格帯を目標とします。

国内外でバイオマス燃料の利用が進んでおり、燃料の質と量の担保及び価格の高騰が懸念されています。そこで 2020 年度には、5 万キロワットのバイオマス専焼発電所 4 基分に相当する最低年間 100 万トンを提供できる体制を整えます。

■会社概要

会社名 : 伸光ホールディングス株式会社
所在地 : 愛知県一宮市真清田 1 丁目 1-20
代表取締役 : 長澤 健太郎
主な事業内容 : プラスチック油化装置の製造、
加水分解乾燥装置の開発製造販売など
URL : <http://www.shinko-mfg.co.jp/>